

令和3年度秋田県放課後児童支援員等資質向上研修 研修レポート抜粋

(誤字脱字等については校正しているため、原文と異なる場合があります。)

県央会場

科目 ②遊びの力

- ◆ 現代において、子どもたちの将来にとって大切な遊びが失われていると学び、学童での遊びを再考するよい機会になりました。遊びを創るために、子どもと大人が時には一緒に遊び、伝えていくことが大切で、自分も実践していきたいと思いました。また、講義の中で体験した遊びを取り入れることにより、相手との距離を近づけ、学童という空間ならではのつながりをつくるような工夫もしていきたいと感じました。
- ◆ 今回の学びは本当に素晴らしいと思いました。子どもたちは遊びという大きな学びの中で育つのだと実感いたします。私達の学童クラブは市内の多くの小学校から集まってきます。学校とは違う仲間との交流で遊びの世界が広がったらいいなと思います。先生がおっしゃった「秋田は人の手によって管理された自然がいっぱいある」との言葉にとっても共感いたしました。「秋田には何もない」といって都会に出てしまう人々に伝えていきたいと思います。
- ◆ 子どもの頃に全力で遊んだときに見えていた景色は、現実と空想がまざりあっていて毎日が楽しかった。大人になるにつれて見えなくなってしまった景色だが、あの満足感は忘れることなく今でも思い出すたび多幸感を与えてくれる。今の子どもたちは学習や習い事など多忙な毎日を過ごしているが、その中でも未来につながる、遊びからしか得られない幸福の積み重ねが出来るように、共に遊んでいきたいと感じた。
- ◆ 今の時代は物も豊富でおもちゃの種類も多いのに、遊びの豊かさが失われてきている現状に驚いた。子どもを取り巻く環境を見ても、遊びの種類や友達と遊ぶ時間が少ない。子ども時代の豊かな遊びを取り戻すため、我々大人は遊びを伝え、一緒に遊ぶことが大切だ。学童クラブの集団にいる時間に様々な遊びや友達との関わりを通して、心身共に成長してくれることを願うばかりです。夏休みは子どもたちとたくさん遊ぼう！
- ◆ 今回受講して、子どもにとって「遊び」というものがすごく大事だということを学びました。昔、自分が遊んでいた遊びを今の子どもたちは出来ておらず、それによって将来に影響が出るということにとっても驚きました。子どもは遊びの中で相手を思いやること、折り合いをつけることを学び、大人になるための準備をしていくことでしたので、今後は子どもたちの遊ぶ時間を大事にしたいです。